

独立記念日記念講演

アジアの若者と日本の将来

アジア研究所

小島麗逸氏 (高4回卒)

独立記念日を記念して、四月十五日、高校第四回卒アシア研究所の小島麗逸氏を迎えて記念講演を行つた。その要旨は次のとおりである。

長い歴史の中で自分のコースを考えて貰い度い。過去を考える場合も五十年、百年先の祖先のことを考えてほしい。そうすれば、現在我々のとっている方法も絶対的ではなく、それも一つだという考えに至るであろう。



▲講演する
小島麗逸氏

高体連だより

中国・印度等の文明の深い国民は、今日指導者は、大学を出ると、地方にまわされ、地域の人々に認められることが前提で、エリート意識はなく、地域の人々の為に奉仕する公僕という考え方をとっている。五十年、六十年後の社会情勢を予測して見る。我々は、長い目で自分達の現在の立場を捉えなければならない。

【陸上競技男子】	
100m	6位
1,500m	2位
5,000m	1位
走幅跳び	5位
走高跳び	5位
【円盤投】	5位
【ハンマー投】	
	3位・5位
【女子】	
走幅跳び	3位
【軟式庭球】	
団体	1位
個人	1位・2位
(県大会に他2チーム出場)	

【卓 球】	
男子団体	2位
個人単1	名県大会出場
【弓 道】	
男子団体	県大会出場
女子団体	1位
個人	4位
【剣 道】	
男子団体	1位
個人	1位
女子	1名県大会出場
【サッカー】	2位
【ラクビー】	3位

（入賞および県大会出場分）

||南信高体連春季大会成績||

選手らは今日も夕方まで自球を追っている。

な御支援、御指導を
き感謝しております。
紙面をお借りして厚
申し上げます。

歩でも甲子園に近づきたいと部長ともども頑張っておられます。今シーズンもよろしく御声援、御協力のほどお願いいたします。

飯伊リーグ戦で優勝



う。遠い将来と同時に古過去をも考えてみる必要がある。一国の将来を考え場合、私欲にとらわれず過去の歴史をふり返り、の国の遠い将来を予測する様な指導者がいるかどうかが、大きな判断の目安にしている。アジア諸国は木を植

滅するとも私はリンゴを植える」戦闘中兵隊が、戦場に木を植えるか、樹をまいたという。誰かが食べられるというのである。二十一世紀の為に我々は何を為すべきか。長い歴史の中の一部分として現在を捉えるような考え方をとるのでなければ、今後のアジアの指導

なれないであろう。
非常に興味ある事例をあげ、後輩である生徒諸君に親しみを以てユーモアたっぷりで話されたので、生徒諸君も皆勤聴し有意義な講演会であった。

進学状況

昭和50年3月大学合格者数

☆一枚のぼろまつはり横臥せる
☆やせ細る黒き裸足のおさなきが
われに離れず笑まひ手を伸

歌集「菩提樹」

土運ぶ裸足に 緋のまつはれば

□卒業記念写真

十九年度迄の未納額を附記してありますので、この分もお願ひ致します。

重な動植物の標本が整理されてい
る。緑に囲まれ学園は今、雨、そして夏をむかえよとしている。

雄しい姿をみせてゐる。歴碑や希望の像の附近をはじめ校地内には沢山の植物が四季を楽しませてくれる。

寄贈品紹介

部が、少し前の号ではあるが「英語教育」という英語教師なら殆んど誰でも読んでいる雑誌がつかない。この間も中学生に話をするように頼まれたが、ワイワイ騒いでいるこの小さい連中が、一体どんなことを考えて居るのか、全然見当がつかない。□名簿

発行は予定通り七月に出来るよう目下努力中です。部数五千部を予定していくが、現在規定通り維持会費と送料分を納入した人はこれに達していないので、希望者は早急に不足額を納して下さい。

□会報
併1、2各回

左記のうち
浪人教室分

<審査格者> 44名中

· 国立一期 5 · 公立大 2 · 各種学校 2
· 二期 11 · 私立大 19 · 未 完 5

www.english-test.net

誌の「和文英訳演習室」の課題文にのったので、なつかしくなって、会報をとり出してもう一度読み返したが、この全文は「作文講座」別巻一「文章範例集」（明治書院）に記載されているそうである。なお、この本は日本語で書かれた模範的な文章を、シ

『雑誌の試訳の一部』
A Talk That Won't Be

There is nothing more disgusting to youngsters to day than moral preaching by adults. They simply will not listen.

The other day I was asked to give a talk to junior high school boys. I had no idea what in the world those noisy little kids might have in their minds.

事務局

だ
よ
り